

一般会計

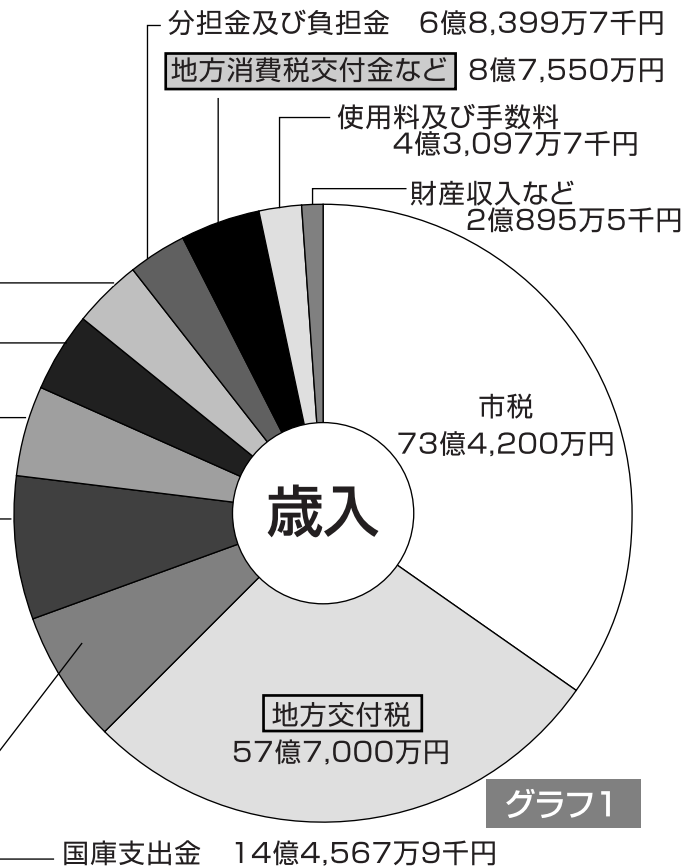
□ は依存財源を表しています。

- 地方贈与税 7億500万円
- 諸収入 9億51万2千円
- 県支出金 10億80万円
- 市債 15億4,900万円

歳入

は、市に入ってくるお金です。グラフ1のとおり、個人市民税や法人市民税、固定資産税などの市税が全体の3割を超える額を占めています。続いて多いのが地方交付税で、57億円を超えています。自主財源の比率は、45.7%となっています。歳入全体では、前年度比3.6%のマイナス（実績ベース）になっています。

市民一人あたりの市税 128,119

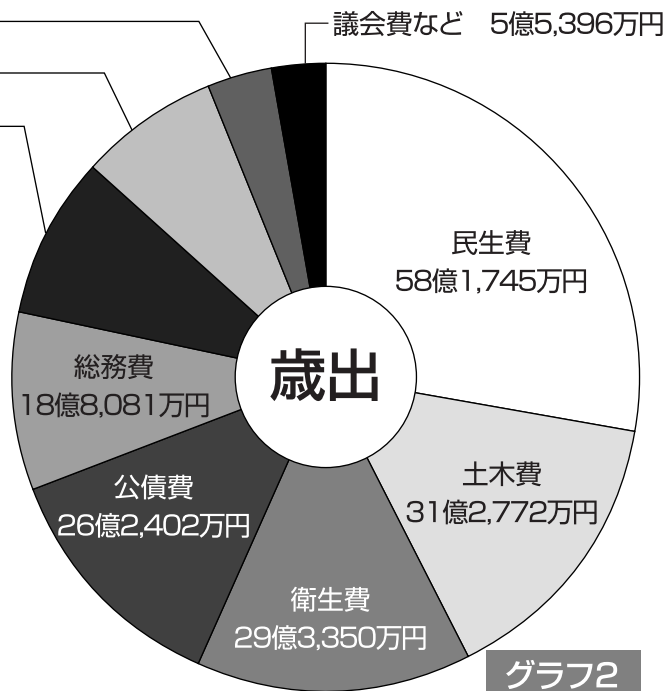


グラフ1

歳出

は、市民の皆さんに対して使われるお金です。グラフ2を見てみると、民生費が一番多く、福祉を充実させるために多くのお金が使われていることがわかります。これに土木費、衛生費が続いています。歳出全体では、前年度に比べ、約8億円のマイナス（実績ベース）になっています。

- 消防費 7億1,640万円
- 農林水産業費 14億6,570万円
- 教育費 17億9,286万円
- 議会費など 5億5,396万円

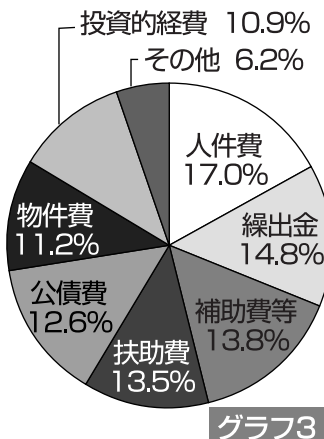


グラフ2

市民一人あたりに使われるお金

36万4千925円

項目	金額	用途
民生費	10万1千516円	子育て支援、高齢者対策などの福祉に使われるお金
土木費	5万4千579円	道路や港を建設・修繕するためのお金
衛生費	5万1千190円	ごみの処理やリサイクル、環境対策に使われるお金
公債費	4万5千790円	市の借入金返済のためのお金
総務費	3万2千820円	市の運営のために使われるお金
教育費	3万1千286円	学校・図書館などの運営や施設を維持していくためのお金
消防費	1万2千501円	消防や防災事業などに使われるお金
その他	3万5千243円	商業・農業の振興などに使われるお金



グラフ3

歳出の性質別内訳

グラフ3のうち、物件費は物品の購入や業務委託などに、扶助費は福祉に、投資的経費は道路や施設の建設のために使われるお金です。また、緑出金は特別会計へ支出されます。

人口57,306人(平成18年3月31日現在)で算出